

## 第十八節 大正七年

### 大正七年度東京美術學校年報

#### 甲 款

#### 概況

大正七年四月二日豫備科及本科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス  
同年同月九日新入學生ノ入學式ヲ行フ  
同年九月廿一日選科入學許可者氏名ヲ官報ニテ發表ス  
同年十月四日本校設置記念日ニ付午前九時ヨリ記念式ヲ行フ  
同年同月廿八日ヨリ十一月八日ニ至ル十二日間文部省主催中等教員等圖畫講習會ヲ本校内ニ開設セラレ  
大正八年一月八日午前十時ヨリ例ニ依リ職員生徒一同講堂ニ參集シ授業始ノ式ヲ學ゲ 御眞影奉拜 勅語奉讀ヲ行ヒタリ  
同年三月廿五日午前十時ヨリ本校第廿八回卒業式ヲ行ヒ例ニ依リテ卒業製作ヲ別室ニ陳列シテ來賓ノ觀覽ニ供シ翌廿六日ハ關係者及有志者ニ觀覽セシメタリ

#### 規程

大正七年六月廿七日文部省告示第百七十四號ヲ以テ明治三十六年同省告示第三十號教員無試驗檢定ニ関スル指定項中ノ本校日本畫科西洋畫科及図案科ニ對スル圖畫指定ノ條件ヲ「本科在學中學校所定ノ教員志望者課程ヲ兼修セシ者ニ限ル」ト改メラル

#### 設備

- 一、日本畫科標本臨時設備費
- 二、西洋畫科標本臨時設備費
- 三、彫刻科標本臨時設備費

〔大正四〜六年度年報とほほ同文につき省略。〕

#### 職員

本年度ニ於ケル職員ノ數ハ學校長一人教授二十七人（内一人他校ヨリ兼務）助教授十人書記六人囑託講師十二人同教員十一人同醫師一人副科囑託二人教務雇十一人事務雇九人ニシテ之ヲ前年度末ニ比スレハ教授四人ヲ増シタルモ助教授五人囑託講師二人同教員一人ヲ減セリ

外國留學生ハ前年度末ト同ジク一人モナシ

休職員ハ教授ニ一人アリシガ年度末前滿期退職ト為リ年度末ニ於テハ助教授ニ一人アリ

#### 生徒

全體ニ於ケル生徒ノ學力操行健康ノ狀態ハ前年度ニ比シ著シキ差違ナク新入學生モ亦同様ナレトモ健康狀態ハ佳良ナリ

本年度新入學者ハ本科百一人選科七人（外ニ外國人四人アリ）  
圖畫師範科二十二名研究生五十二人ニシテ其入學者ノ學力ノ程度ハ

本科生ニアリテハ官公立中學校卒業者五十三人（内豫備科修了者四十五人）私立中學校卒業者三十五人（内豫備科修了者三十一人）工藝學校卒業者九人（内豫備科修了者八人）工業學校卒業者四人（内備科修了者三人）選科生ニアリテハ官公立中學校卒業者二

人工業學校卒業者一人中學二年修了者一人高等小學校卒業者一人  
本校ニ於ケル試驗檢定合格者一人高等工業學校卒業者一人トス

圖畫師範科ニ在リテハ官公立中學校卒業者九人私立中學校卒業者

二人師範學校卒業者十一人トス 研究生五十二人ハ孰レモ本校卒業者ノ入學シタルモノナリ

新入學生ノ年齢ハ本科生ハ最高二十六年一ヶ月最低十八年一ヶ月平均廿一年六ヶ月ナリ 選科生ハ最高二十五年十ヶ月最低十九年四ヶ月平均二十二年十ヶ月ナリ 図書師範科生ハ最高二十四年一ヶ月最低十八年一ヶ月平均廿一年九ヶ月ナリ 研究生ハ最高三十年三ヶ月最低二十年六ヶ月平均廿五年七ヶ月(孰レモ外國人ヲ除ク)ナリトス

生徒ノ入退學ハ本年度入學者ハ本科百一人選科七人(外ニ外國人四人アリ) 図書師範科二十二名研究生五十二人再入學者二人ニシテ退學者ハ病氣退學四名家事係累退學二十一人除名十八人死亡四人在學資格消滅二十四人(内豫備科十一人研究科十二人図書師範科一人)アリ 今之ヲ前年度末ニ比スレバ入學者ニ在リテハ本科ニ九人選科ニ一人ヲ減ジ図書師範科ニ三人研究生ニ二十二名ヲ増シ(研究生入學者ノ前年度ニ比シ著シク増加セルハ六年度末卒業生ノ七年度始ニ於テ入學セシ者トシテ七年度卒業生ニシテ其年度末迄ニ入學セシ者トヲ合算セシ爲ナリ 是レ大正七年ヨリ三月末ニ於ケル卒業日ヲ數日)再入學ニ一人ヲ減ジタリ 退學者ニ在リテハ病氣退學ニ一人家事係累退學ニ三人死亡ニ五人ヲ減ジ除名ニ九人ヲ増シ在學資格消滅ハ豫備科ニ八人研究生ニ同ジク八人ヲ増シ図書師範科ニ二人ヲ減ジ轉科ニ五名(前年度ニナシ)ヲ復校ニ一名(前年度ニナシ)ヲ増シタリ

生徒ノ員數ハ本年度末ニ於テ之ヲ前年度末ニ比スレバ日本畫科ニ八人ヲ金工科ニ一人ヲ鑄造科ニ三人ヲ図書師範科ニ四人ヲ選科ニ十三人ヲ研究生ニ十三人ヲ増シ彫刻科ニ六人ヲ図案科ニ二人ヲ漆工科ニ三人ヲ製版科ニ二人ヲ臨時寫真科ニ二人ヲ減ジ西洋畫科

ハ増減ナク全體ニ於テ差引廿七人ノ増加ヲ見タリ 而シテ又此外ニ本年度末ノ外國人ハ選科生中ニ支那人十人アリテ前年度末ニ比スレバ一人ヲ増加セリ

本年度ノ卒業生ハ本科八十六人(前年度ニ卒業スベキ者ニシテ疾病延期ニ因リ本年度ニ入リ卒業セシ者一人ヲ含ム)選科十五人図書師範科十五人計百十六人ニシテ前年度ニ比スレバ七人ノ増加ヲ見タリ 是レ主トシテ選科ノ卒業生多カリシニ因ル而シテ前年度ニ於テ製版科及臨時寫真科ハ始メテ卒業生ヲ出シ本年度モ引續キ六七名ツ、ノ卒業生アリ 故ニ總體ニ於ケル卒業生ノ數ハ年々増加ノ趨勢ヲ示シ居レリ

生徒中學業品行殊ニ優等ナルモノヲ選ビ本校規則第廿六條ニ依リテ特待生ト為シ大正七年九月ヨリ一學年間授業料ヲ免除シタルモノ十八人アリ 之ヲ前年度ニ比スレバ二人ヲ減ジタリ

図書師範科生徒ニハ前年度ト同ジク學術又ハ技藝ノ優秀ナルモノニ等差ヲ附シテ奨励金ヲ給與セリ 即チ本年度九月、十一月及ビ三月ノ三回ニ於テ図書師範科生徒ノ競技會ヲ催シ其成績ノ優良ナルモノニ奨励金ヲ給與シ又年度末ニ於テ別ニ學術操行ノ優良ナルモノヲ撰拔シテ同ジク奨励金ヲ給與セリ

大正八年三月末卒業スベキ各本科生徒ノ實地修學ノタメ本年度ノ初メ四月三日ヨリ同月十八日ニ至ル十六日間ヲ以テ教授助教授各一人囑託一人書記一人ヲシテ之ヲ引率セシメ京都府及奈良縣へ出張シテ美術上ノ研究ヲ為サシメタルコト前年ニ同ジ

同ジク大正八年三月末ニ卒業スベキ図書師範科生徒ヲシテ實地授業法ノ調査研究ノタメ本年度十月四月ヨリ同月十三日ニ至ル十日間ヲ以テ助教授一人ヲシテ之ヲ引率セシメ京都府大阪府及奈良縣

下へ出張シ調査研究ヲ為サシメタリ

本校ニ於テハ生徒皆通學ナルヲ以テ寄宿舎ニ関シテ申報スベキ事項ナシ

将来施設上重要ト認ムル件

專任生徒監設置ノ件

本校ニ於ケル生徒監ハ文部省直轄諸學校官制ノ定ムル所ニ依リ奏任教官中ヨリ補任セラル、コト、為リ居ルモ本校ノ如キ特ニ藝術ヲ主トスル學校ニ在リテハ教官中ヨリ生徒監タル適任者ヲ得ルコト甚ダ難キ事情アリ 又生徒監ノ職責タル生徒訓育ノ上ニ於テモ動モスレバ藝術ヲ主トシテ其他ヲ顧ミザルノ傾向アル本校生徒ニ對スル訓育ハ他校生徒ニ比シテ又一層微密周到ノ注意ト勞務トヲ要スベキモノアリ 故ニ教官ノ兼務ニテハ假令其人ヲ得ルモ尚且其職責ノ遂行上ニ遺憾ヲ感セザルヲ得ザル場合アリ 若シ夫レ專任職ナラシメバ自ラ全力ヲ盡シテ生徒ノ訓育ニ從事シ得ベキヲ以テ遺憾少カルベク又生徒監其人ヲ得ルニ就キテモ廣ク校ノ内外ヨリ適任者ヲ物色シテ任命シ得ルノ便宜アリ 以上ノ理由ニ因リ本校ニハ將來專任生徒監ヲ設置サレンコトヲ希望ス

留學生並ニ教官ノ海外派遣ニ関スル件

從來本校教官又ハ卒業生中ヨリ將來本校ノ教務ヲ執ラシムル目的ヲ以テ毎年一二名ツ、文部省留學生ヲ命セラレ歐州各國ニ留學セシメタルニ大正三年歐州大戰爭ノ勃發以來數年間中絶シタリ 然ルニ今ヤ歐州ノ平和モ成リ漸次靜穩ノ狀態ニ復スルニ際シ再ビ留學生ヲ命セラレンコトヲ希望ス 而シテ留學生ハ獨リ歐州諸國ニノミ限ラズシテ東洋方面ニモ及ボシ支那印度ヲ主トシテ留學セシ

メ其古美術ヲ調査シ系統ヲ研究セシムルコトモ亦緊要ニ屬セリ 又留學生ノ外ニ時々二三ノ教官ヲ海外ニ派遣シテ情勢ヲ視察セシメ比較的短日月間ニ實地見學上ヨリ美術ニ関スル新知識ヲ獲得セシメ歸來直ニ授業上ニ裨補スル所アラバ必ズ效果ノ著シキモノアルベキヲ思料ス 是亦緊要ト認メテ其實行ヲ切望スル所ナリ

建物大修繕ヲ要スル件

本校金工科、鑄造科、漆工科、製版科、及臨時寫真科並ニ図書師範科ニ使用セル建物ノ構造ハ不完全ニシテ從來諸處破損ヲ生シ殊ニ外面ニ塗飾セル白壁ノ如キハ暴風雨ニ際會スルトキハ剝落スルヲ常トシ一時の姑息ノ修繕ヲ為シ來リシモ到底一大修繕ヲ加フルニ非ラザレバ其堅牢ヲ期シ難キニ付此際特ニ其費用ヲ支出サレンコトヲ望ム

豫備科教室新築ノ件

本校豫備科生徒ノ教育ハ從來各科ニ分屬シテ教育シ或ル共通學課ヲ授クル場合ノミ一教室内ニ集合授業セシガ今回其方法ヲ改メ又案科金工科鑄造科漆工科ノ豫備科生徒ハ平日モ集合教授制ノ下一教室ニ收容シテ諸種ノ實技習作ニ從事セシムルコト、シ假ニ銃器收納室ノ内部ニ改造ヲ加ヘテ其教室ニ充テ大正八年四月以降實施シ居ルモ固ヨリ假造的教室ナルヲ以テ不備不便甚シク授業上十分ノ效果ヲ擧ゲ難キ遺憾アリ 因テ是等豫備科生徒ヲ收容スル為ニ一教室ヲ新築シ設備ヲ完全ニスルノ必要アリ 是亦目下急施ヲ要スル件トシテ切望スル所ナリ

陳列館新築ノ件〔大正五、六年度報告と文章が異なるため掲載す

る。〕

本校ニ於テ蒐集貯藏セル美術上ノ参考標本ヲ平時常ニ陳列展覽セシメテ生徒ノ教養ニ資セシムルノミナラズ延イテ校外篤志者ニモ參觀ヲ許シ美術工藝界ヲ裨益スルノ目的ヲ以テ本校ニ陳列館新築ノ必要アルハ前數年間ノ年報ニ於テ縷説スル所ニシテ其論旨既ニ盡セルヲ以テ今復タ絮言セザルモ其必要ヲ感ズルコト年一年益々切ナルモノアリ 因テ此事ノ單ニ一片ノ意見希望タルノ域ヲ脱シ速ニ實行セラル、ニ至ランコトヲ望ム

〔大正六年度年報における「製版科教室新築ノ件」〕「写真科本設置ノ件」の項目は本年報においては削除されている。このうち前者に關しては本年報乙款「其他經濟上特ニ申報スヘキ事項」に第一の項目として

「一 本校ニ從來製版科ナカリシモ大正三年九月ヨリ新設セラレ之ニ要スル教室ノ設備ナキヲ以テ假リニ鑄造科ノ一部及化學教室ノ一部ヲ充當シ漸々不便ヲ忍ヒツ、今日ニ至リシモ生徒及學級ノ増加ニ伴ヒ教授上ノ支障少カラス 依テ製版科教室ヲ新築セラレンコトヲ切望ス 且又製版科新設ニ伴フ豫算ノ増額僅少ナリシ為メ經理上非常ノ困難ヲ來シ居レリ 依テ之カ經費ノ増額ヲモ併セテ切望ス」という記載がなされているが、後者については何ら記されていない。」

雜件  
生徒實驗ノ資ニ供スルタメ諸所ノ依囑ヲ受ケ製作ニ從事シタルモノ、中重モナルモノヲ擧グレバ左ノ如シ

依囑製作一覽

品名	數量	受託年度	本年度内竣工未竣工	依囑者
鳳凰噴水塔	壹基	前年度	竣工	藤田敏郎
姿見	貳基	本年度	同	宮内省
御飾時計	壹個	前年度	未竣工	東京市
小野光景銅像	壹基	本年度	同	小澤明治
山形仲藝銅像	壹基	同	同	井上嘉都治

『東京美術学校校友会月報』記事抜粹

東京美術学校近事 〔二六一七〕<sup>卷号</sup> T・七・一・三<sup>年月日</sup>

●辭令

前田祥吾  
雇を命ず、圖案科第二部助手を命ず

雇安藤喜八郎

依願解雇（以上一月三十日）

囑託 畑正吉

任東京美術学校助教授（一月三十一日）

●職員動靜

○澤村專太郎氏（囑託）十二月一日無事孟買<sup>[ボンベイ]</sup>に到着、目下諸般の準備中なれば、近日アジャンターに向ひ出發すべしと、十二月五日同氏の發信に見えたり。